

データベースソフトウェアの 外国語教育への応用

神谷 健一（かみや けんいち）
知的財産学部 知的財産学科 准教授



用途・応用分野：外国語教育・教育学・データベース技術

■ 研究シーズ概要

過去10年以上にわたり、データベースソフトウェアを用いることで外国語教育における語形変化提示・例文提示などを円滑に行うことを目指したツール開発を行ってきた。ドイツ語・韓国語・フランス語・イタリア語・ロシア語・英語・スペイン語（GK-FIRESと称）のそれぞれ（その他にも日本語・中国語・ガリシア語などの実践事例もある）について、主にスライド型の教材提示ツール（四択問題提示ツール、フラッシュ型 例文・対訳提示ツール、動詞変化形提示ツール）を扱った科学研究費補助金を獲得し、研究成果は全て無償で公開している。詳細は以下のサイトを参照されたい。なお、2012～2015年度の研究成果報告書（全355ページ）にもリンクを貼っている。

<http://www.oit.ac.jp/ip/~kamiya/>

■ 研究シーズの特徴

Excel形式で作成したデータを、それぞれのツールで読み込むことにより、教材のオーサリングツールとして利用できる。

- ①問題データの多目的利用（四択問題であれば他分野にも応用可能）
- ②例文・対訳データの多目的利用
- ③単語変化形データの多目的利用

